



令和元年 11 月 11 日	
所 属	疾病対策課
所属長	榎並 隆喜
電 話	06－4869－3053

## 石綿ばく露者に対する恒久的な健康管理制度の構築等に関する要望の実施について

### 1 趣旨

平成 17 年 6 月の「クボタショック」以来、多くの石綿による健康被害を受けた方々を支えている本市としては、石綿ばく露者に対する恒久的な健康管理制度の構築に向け、多くの自治体と連携し、「石綿ばく露の可能性のある者への健康管理制度の構築等について」の共同要望を継続して行い、また、令和元年 7 月 31 日には、大阪府下及び兵庫県下の試行調査実施自治体で、「石綿ばく露者の健康管理対策事業に関する要望」も実施してきておりますが、今回改めて全国的かつ恒久的な健康管理制度の構築を推し進めることを要望します。

また、石綿健康被害救済制度の認定者が平成 30 年 3 月末までに全国で 1 万人を超えており、認定者のうち 60 歳未満の方々が 6 人に 1 人となっています。そのため、本救済制度で医療費全額を負担すること及び、現役世代で中皮腫等石綿健康被害を受けた方が安心して生活ができるような救済給付制度の充実すること等についても併せて要望します。

### 2 日時

11 月 13 日(水)午後 3 時 30 分

### 3 要望先

環境省、兵庫県第 8 区選出衆議院議員及び兵庫県選出参議院議員

### 4 要望者

尼崎市長 稲村和美

### 5 要望項目（骨子）

#### (1) 石綿ばく露者に対する恒久的な健康管理制度の構築に向けて

- ・ 全国無料で受診が可能な恒久的な健康管理制度の構築
- ・ 胸部 C T 検査など必要な検査を受診できる制度の構築
- ・ 石綿関連疾患が読影できる医師を継続して育成する体制の構築

#### (2) 石綿健康被害救済制度のさらなる充実

- ・ 現役世代の被害者及び残された家族への経済的負担軽減等救済給付制度の充実
- ・ 石綿健康被害救済法での医療費全額負担の制度構築

以 上